

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 ラビスタ宝塚団地自治会

1 事業名	ふれあいフェスティバル
2 事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	実施日 : 令和6年10月13日（日） 場所 : すみれガ丘中央公園 参加人数 : 約1,000名 対象者 : 地域住民・同地域で勤務されている方・すみれガ丘小学校/御殿山中学校/県立宝塚北高校で学ばれている生徒の皆さん等 内容 : ラ・ビスタ宝塚団地及び地域のふれあいの場を創り、世代を越えた交流を図る機会と場を提供する為の催しを実施 1) 舞台プログラム：御殿山中学吹奏楽部演奏 宝塚北高校演劇科による創作ダンス 住民による歌唱と演奏（3組） 宝塚市内で積極的な活動する和太鼓集団「熱光」演奏 2) 展示関連 : すみれガ丘小学校生徒による人権ポスター（60枚） 自治会防犯防災部による防災備品展示と防災啓蒙活動 3) 昔遊び体験 : 住民による昔遊び体験（風車・ブンブンコマ作り） シャボン玉遊戯 ※ 舞台プログラムで、住民と同地域に通学する生徒の交流。 展示では人権・防災への意識を高めるべく啓蒙活動実施。 昔遊びは、2～3歳から80歳超の世代を超えた人と人のつながりを深める活動。
3 市制70周年をお祝いした内容	1) 御殿山中学吹奏楽部による宝塚にゆかりのある演奏で参加者を盛り上げ、保護者や教職員の方々も多数参加頂き、地域への愛着と発展を祈念する取り組みとなった。 2) 宝塚北高校演劇科メンバーによる創作ダンスで学校や地域紹介で理解が深まった。 3) 和太鼓集団「熱光」による力強い演奏で、明るい宝塚の未来を示唆する内容となった 4) ラ・ビスタ元住人である居住者の子息やOBなども積極的に参加頂き、過去・現在・未来をつなぐ象徴となり、ミニ同窓会のような和やかな場がもたらされた。
4 事業の効果・成果	1) 想定以上の参加者で、住民間交流がコロナ禍以降で最大規模で実施出来た。 2) 年齢差80歳以上の交流で、狙いとしていた「世代を超えた交流」が実現出来た。 3) 住民のみならず、勤務・通学されている皆さんの積極的参加で、交流が深められた 4) 市制70周年のお祝いと共に、コロナ禍で対応出来なかったラ・ビスタ宝塚30周年のお祝いが出来た。 5) ラ・ビスタ内に留まらず、コミュニティーすみれ（宝塚街づくり評議会）関係団体の支援も得て、全員参加での催しが開催出来た。（自治会役員以外のボランティア約180名・自治会役員含め約250名の手厚いサポーター群活躍） 6) ラ・ビスタ地域以外居住の子供さんの積極的参加と交流

5 実施した安全対策
1) 自治会保険に加入 2) ガードマン2名手配・・・特に中央公園内の車両出入り 3) 自治会防犯防災部役員による会場巡回 6名で20分毎(年少者安全確保) 4) 業者・出演者などの機材搬入・搬出時間と車の台数・規模の事前確認 5) カラーコーン設置などによる人流制限と安全確保 6) 火気使用ブース近傍に各々消火器の設置